

経済学 演習ノート

マクロ編

攻略！マクロ経済学（P 58）

現在の国民所得水準が 100 兆円であるとき、限界消費性向が 0.8 として、投資が 12 兆円増加すると国民所得水準はいくらになりますか。

1. 109.6 兆円 2. 112 兆円 3. 160 兆円 4. 196 兆円 (地方上級 改題)

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=WBgLU0becv8>

攻略！マクロ経済学（P 59）

ある国のマクロ経済が次のように表されています。

$$Y = C + I$$

$$C = 0.8Y + 800$$

$$I = 1200$$

(C：消費、Y：国民所得、I：投資)

この国において、投資が 500 増加させた場合、均衡国民所得は次のうちどれになりますか。ただし、政府部門、海外との取引はないものとします。

1. 10,000 2. 12,500 3. 15,000 4. 17,500

(地方上級 改題)

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=WBgLU0becv8>

攻略！マクロ経済学（P 62）

国民所得が消費（C）、投資（I）からなる経済において、消費関数が $C = 20 + 0.8Y$ 、投資 $I = 40$ で均衡国民所得を維持しています。このとき、完全雇用を実現できる国民所得の水準が 350 であるとき、この水準を達成させるのは投資をいくら拡大させる必要がありますか。

1. 10 2. 20 3. 30 4. 40 5. 30

(国税専門官 改題)

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=WBgLU0becv8>

攻略！マクロ経済学（P 68）

マクロ経済モデルが以下のように示されています。

$$Y = C + I + G$$

$$C = 0.8Y + 50$$

$$I = 60$$

$$G = 40$$

(Y：国民所得、C：消費、I：独立投資、G：政府支出)

この時、政府支出を 20 増加させると国民所得はいくら増加することになりますか

1. 20 2. 60 3. 80 4. 100

(地方上級 改題)

(動画解説) https://www.youtube.com/watch?v=bTBUa_aq-h8

攻略！マクロ経済学（P 73）

ある経済において、マクロ経済モデルが次のように示されている。完全雇用を実現する国民所得が 400 であるとき、完全雇用を実現するために必要となる減税の大きさとして、正しいものはどれですか。

(Y：国民所得、C：民間消費、I：民間投資、G：政府支出、T：租税)

$$Y = C + I + G$$

$$C = 0.8(Y - T) + 20$$

$$I = 30$$

$$G = 50$$

$$T = 50$$

1. 15 2. 25 3. 35 4. 45 5. 55

(地方上級 改題)

(動画解説) https://www.youtube.com/watch?v=bTBUa_aq-h8

攻略！マクロ経済学（P 74）

ある経済で景気刺激対策として 3 兆円の政府支出が必要な場合、政府支出の代わりに減税政策をおこなうとしたら、その国民所得の増加額が同じになるとして、いくらかの減税額が必要になりますか。ただし、限界消費性向は 0.75、租税は一括課税とする。

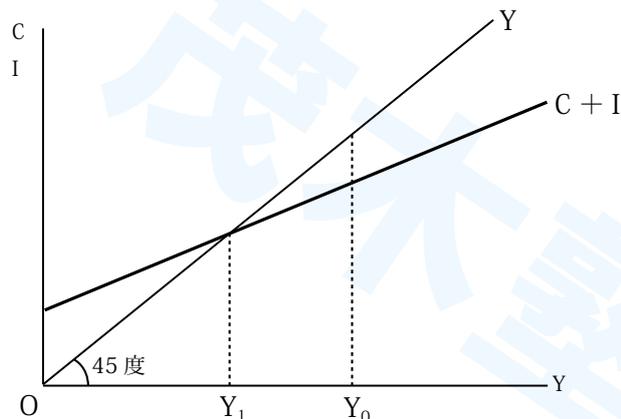
1. 2 兆円 2. 3 兆円 3. 4 兆円 4. 5 兆円

(国税専門官 改題)

(動画解説) https://www.youtube.com/watch?v=bTBUa_aq-h8

攻略！マクロ経済学（P 83）

次の図は縦軸に消費 C および投資 I を、横軸に国民所得 Y をとり、完全雇用国民所得を Y_0 、総需要 D が $D = C + I$ のときの均衡国民所得を Y_1 で表したものです。今、 $Y_0 = 350$ 、 $C = 20 + 0.6Y$ 、 $I = 100$ であるとき、完全雇用国民所得 Y_0 に関する記述として妥当なものはどれですか。



1. Y_0 の水準では、20 のインフレ・ギャップが生じています。
2. Y_0 の水準では、50 のインフレ・ギャップが生じています。
3. Y_0 の水準では、20 のデフレ・ギャップが生じています。
4. Y_0 の水準では、50 のデフレ・ギャップが生じています。
5. Y_0 の水準では、70 のデフレ・ギャップが生じています。

(地方上級 改題)

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=Q-9TXA5c3ok>

攻略！マクロ経済学（P 89）

マクロ経済モデルが $Y = C + I + E - M$ で与えられています。(Y: 国民所得、I: 投資、E: 輸出、M: 輸入、民間のみの経済を想定し政府活動はないものとします)

今、限界消費性向が 0.8、限界輸入性向が 0.2 である場合に、輸出が 15 増加した時に、これによって輸入はいくら増加しますか。

1. 5.5 2. 7.5 3. 9.5 4. 11.5 5. 13.5

(国家Ⅱ種 改題)

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=Q-9TXA5c3ok>

攻略！マクロ経済学（P 92）

財市場において、次のような示されています。民間貯蓄が 150、政府支出が 100、租税が 80、貿易・サービス収支が 20 とすると、民間貯蓄と民間投資のバランスに関し、IS バランス式にもとづく結論として正しいものは、次のうちどれですか。

- 1 貯蓄超過で超過額は 20
- 2 貯蓄不足で不足額は 110
- 3 貯蓄不足で不足額は 80
- 4 貯蓄超過で超過額は 40
- 5 貯蓄と投資は等しい

(裁判所事務官 改題)

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=Q-9TXA5c3ok>

攻略！マクロ経済学（P 94）

マクロ経済が、

$$Y = C + I + G + E - M$$

$$C = 0.7Y + 30$$

$$M = 0.2Y + 20$$

(Y：国民所得、C：消費、I：投資、G：政府支出、E：輸出、M：輸入)

で示され、当初、投資が 60、政府支出が 50、輸出が 130 です。政府支出を倍増させた場合、貿易収支はどのように変化しますか。ただし、投資や輸出は当初の水準から変化しないものとします。

1. 当初の赤字であり、政府支出を倍増させた後は赤字がさらに増えます。
2. 当初は赤字ですが、政府支出を倍増させた後は黒字になります。
3. 政府支出の倍増の前後で貿易収支は変化しない。
4. 当初は黒字であるが、政府支出を倍増させた後は赤字となります。
5. 当初は黒字であり、政府支出を倍増させた後は黒字がさらに増えます。

(国家一般職 改題)

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=Yy842l3nfKU>

攻略！マクロ経済学（P 100）

現在400万円の年収があり、1000万円の資産を保有している30歳の人があります。この人が60歳まで働き、80歳まで寿命があり、今後30年間は現在と同額の所得があるが、その後は所得が無いという予想の下で、生涯にわたって毎年同額の消費を行うとしたときの限界消費性向及び平均消費性向の値の組み合わせとして、妥当なのはどれか、ただし、個人の消費行動はライフサイクル仮説に基づき、遺産は残さず、利子所得は無いものとする。

	限界消費性向	平均消費性向
1	0.55	0.65
2	0.6	0.65
3	0.6	0.6
4	0.65	0.6
5	0.65	0.55

（地方上級 改題）

（動画解説）<https://www.youtube.com/watch?v=pbQSyGK0IWE>

攻略！マクロ経済学（P 120）

ある企業の今期のプロジェクトとして、次の①、②、③の実行が検討されています。利率を15%としたとき、実行されるプロジェクト妥当なもののみを挙げているのはどれですか。

- ① 50億円を投資し、1年後に限り60億円の収益を得る案件。
- ② 40億円を投資し、2年後に限り90億円の収益を得る案件。
- ③ 100億円を投資し、1年後から以降30年間にわたって毎年10億円の収益を得る案件。

ただし、それぞれのプロジェクトは1回に限り実行可能とし、計算の都合上、30年間という期間はほぼ無限期間とします。

1. ② 2. ③ 3. ①、② 4. ②、③ 5. ①、②、③

（国税専門官 改題）

（動画解説）https://www.youtube.com/watch?v=clo0sET_7WY

攻略！マクロ経済学（P 114）

国民経済が消費、投資、純輸出からなるものとします。この経済の1年目と2年目の国民所得と各支出項目が次のように示されています。このとき、2年目の経済成長率における投資の寄与度と寄与率はそれぞれいくらになりますか。

	1年目	2年目
消費	600	750
投資	250	275
純輸出	150	175
国民所得	1000	1200

- | | 寄与度 | 寄与率 |
|----|-------|-------|
| 1. | 2.08% | 8.3% |
| 2. | 2.5% | 12.5% |
| 3. | 12.5% | 2.5% |
| 4. | 22.9% | 20% |

（国家Ⅱ種 改題）

（動画解説）<https://www.youtube.com/watch?v=JaSdlnH1mLY>

攻略！マクロ経済学（P 139）

ある市中銀行が8,000万円の預金を受け入れた場合、この預金をもとに市中銀行全体で派生的に信用創造される預金額として正しいものはどれですか。ただし、すべての市中銀行の預金準備率は20%とし、預金は途中で市中銀行以外に漏れることはありません。

1. 1,600万円 2. 9,600万円 3. 1億4,400万円
4. 3億2,000万円 5. 4億円

（地方上級 改題）

（動画解説）https://www.youtube.com/watch?v=oL-84hi_yZU

攻略！マクロ経済学（P 141）

現金通貨を C、預金通貨を D、支払準備金を R とすると、公衆の現金・預金比率が $\frac{C}{D} = 0.02$ であり、市中銀行の支払い準備率が $\frac{R}{D} = 0.01$ であるとき、貨幣乗数はいくらになりますか。

1. 30 2. 34 3. 38 4. 42 5. 46

（国家Ⅱ種 改題）

（動画解説）https://www.youtube.com/watch?v=oL-84hI_yZU

攻略！マクロ経済学（P 148）

ケインズの貨幣市場に関する記述のうち妥当なものはどれですか。

1. 貨幣市場で超過供給が発生すれば利子率は下落し、債券の価格は上昇します。
2. 貨幣市場で超過供給が発生すれば利子率は上昇し、債券の価格は下落します。
3. 貨幣市場で超過需要が発生すれば利子率は下落し、債券の価格は上昇します。
4. 貨幣市場で超過需要が発生すれば利子率は上昇し、債券の価格は上昇します。

（地方上級 改題）

（動画解説）<https://www.youtube.com/watch?v=Ef3oclbk9DM>

攻略！マクロ経済学（P 155）

現金預金を C、預金通貨を D としたとき、現金預金比率 $(\frac{C}{D})$ が 0.2、法定準備率が 0.3 でいずれも常に一定であるとします。また、銀行の支払い準備と法定準備は一致し、銀行の手元保有現金はゼロであるとするとき、次の記述で妥当なものはどれですか。

1. 通貨乗数（貨幣乗数）は 3 となります。
2. ハイパワード・マネーを 10 兆円増やした時、預金通貨は 20 兆円増えます。
3. ハイパワード・マネーを 10 兆円増やした時、現金通貨は 8 兆円増えます。
4. ハイパワード・マネーを 10 兆円増やした時、マネーストックは 40 兆円増えます。
5. ハイパワード・マネーを 200 兆円増やした時、マネーストックは 640 兆円増えます。

（国家一般職 改題）

（動画解説）<https://www.youtube.com/watch?v=1x7W0pp7dil>

攻略！マクロ経済学（P 156）

現金通貨（市中で流通している通貨）33 兆円、預金通貨 30 兆円、準通貨 89 兆円、銀行手元保有現金 3 兆円、日銀預り金 2 兆円の時、信用創造乗数（貨幣乗数）はいくらになりますか。

1. 3.6
2. 3.8
3. 4
4. 4.2
5. 4.4

（地方上級 改題）

（動画解説）<https://www.youtube.com/watch?v=7H3Iqq1Lvbs>

攻略！マクロ経済学（P 175）

ある国のマクロ経済において、

$$Y = C + I + G$$

$$C = 40 + 0.7(Y - T)$$

$$I = 80 - 6r$$

$$T = 0.2Y$$

$$L = 100 + 0.4Y - 10r$$

$$M = 220$$

$$P = 1.1$$

$$Y_f = 300$$

C：消費 I：投資 Y：国民所得
G：政府支出 r：利子率 T：租税
M：貨幣供給量 L：貨幣需要量
P：物価水準 Y_f：完全雇用国民所得

で示されています。政府支出により完全雇用を達成するために必要な政府支出はいくらになりますか。ただし物価は一定とします。

1. 20 2. 21 3. 23 4. 24

(国税専門官 改題)

(動画解説)https://www.youtube.com/watch?v=uMI_XL_JBwC

攻略！マクロ経済学（P 204）

ある国のマクロ経済が、次のように示されています。

$$Y = C + I + G$$

$$C = 15 + 0.6Y$$

$$I = 15 - i$$

$$G = 20$$

$$M = L$$

$$L = 10 + Y - 10i$$

$$M = 60$$

Y：国民所得 C：消費 I：投資
G：政府支出 i：利子率
L：貨幣需要 M：貨幣供給

この経済において、財政政策と金融政策を組み合わせる政策が行われます。政府支出を20から24に増加させたとき、国民所得は増加しますが、クラウドイング・アウト効果がない場合と比較すると国民所得は小さくなります。このクラウドイング・アウト効果によって生じる国民所得の減少を完全に打ち消すためには、貨幣供給をいくら増加させればよいですか。

1. 10 2. 15 3. 20 4. 25 5. 30

(国家一般職 改題)

(動画解説)<https://www.youtube.com/watch?v=QQsYMmeHddc>

攻略！マクロ経済学（P 198）

ある国の経済が、次のように示されています。

$$Y = C + I + G$$

$$C = 10 + 0.6(Y - T)$$

$$I = 120 - i$$

$$G = 40$$

$$T = 20$$

$$M = L$$

$$L = 10 + 0.1Y - i$$

$$M = 10$$

Y：国民所得 C：消費 I：投資
G：政府支出 T：税金 i：利子率
L：貨幣需要 M：貨幣供給

この経済において、政府支出が 40 から 50 に増加したとき、クラウディング・アウト効果によって生じる国民所得の減少分はいくらですか。

1. 2 2. 4 3. 5 4. 7 5. 9

（国家Ⅱ種 改題）

（動画解説）<https://www.youtube.com/watch?v=-dhMp1SiG1s>

攻略！マクロ経済学（P 206）

ある国のマクロ経済が、次のように示されています。

$$Y = C + I + G$$

$$C = 0.8(Y - T) + 42$$

$$I = 20 - 100r$$

$$L = 0.2Y - 100r + 50$$

$$\frac{M}{P} = 100$$

$$Y_F = 300$$

Y：国民所得 C：消費 I：投資
G：政府支出 T：税収 r：利子率
L：実質貨幣需要 M：名目貨幣供給
Y_F：完全雇用国民所得

このとき、均衡財政を維持しつつ（T = G）、政府支出によって完全雇用を達成させるためには、いくらの政府支出が必要ですか。

1. 10 2. 20 3. 30 4. 40 5. 50

（国家一般職 改題）

（動画解説）<https://www.youtube.com/watch?v=uOPwInxndxS>

攻略！マクロ経済学（P 221）

ケインズの経済理論に関する次の記述のうち、妥当なのはどれですか。

- ケインズによれば、投資は、資本の限界効率が利率よりも高い限り実行されます。ここで、資本の限界効率は、将来収益の割引現在価値を資本財の供給価格に一致させるような計算上の割引率のことです。
- ケインズによれば、消費は所得の増加関数であり、所得の増加に伴って消費が増えるとき、消費の増加率は所得の増加率よりも大きくなります。一方、貯蓄は、所得の変動よりも利率の変動によってより強く影響されることが経験的に知られていることから、利率の減少関数とされます。
- ケインズは、従来の古典派経済学の労働需給の捉え方を全面的に否定し、労働需要に関しては企業の利潤最大化行動を、労働供給に関しては労働者の効用最大化行動を仮定して、労働需要及び労働供給がそれぞれ実質賃金率に依存することを導き出した。これにより、労働市場が超過供給となっている場合、実質賃金率は下方に硬直性を示すことになります。
- ケインズは、売買は本来みな商品どうしの交換にほかならないため、購買力は生産それ自体から生まれるとしました。そして、ある種の商品が過剰になることはあり得ても、社会全体では販売と購買は常に同じであるので一般的過剰生産は起こり得ないと主張し、セイの法則を批判しました。
- ケインズによれば、株式や債券などの収益性を持つ金融資産も流動性を有するため貨幣に含められる。投機的動機に基づく貨幣需要はこのような金融資産に対するものであり、その需要の大きさは所得の水準に依存することになります。

（国家総合職 改題）

（動画解説）<https://www.youtube.com/watch?v=TUDIpHw8OBs>

攻略！マクロ経済学（P 239）

政府と海外部門を捨象したマクロ経済モデルが次のように与えられています。

$$C = 20 + 0.5(Y - T)$$

$$I = 70 - 5r$$

$$G = 40$$

$$T = 60$$

$$L = 0.4Y - 6r + 180$$

$$M = 360$$

$$Y_f = 240$$

C：消費 I：投資 G：政府支出
T：税金 r：利率 P：物価
L：実質貨幣需要
M：名目貨幣供給
Y_f：完全雇用国民所得

このとき、古典派的なマクロ均衡点における物価水準Pはいくらになりますか。

1. 1.2 2. 1.5 3. 1.8 4. 2.0 5. 2.1

（国税専門官 改題）

（動画解説）<https://www.youtube.com/watch?v=573LSYvP24k>

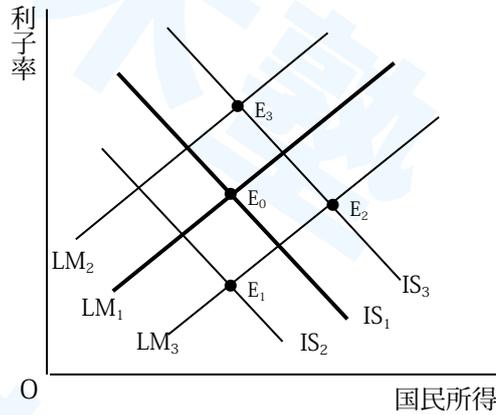
攻略！マクロ経済学（P 259）

公債の資産効果に関する記述で、空欄ア～オに該当する語の組み合わせで妥当なものを選んでください。

下図は縦軸に利子率、横軸に国民所得をとり、市中消化により公債が発行された場合の資産効果をIS曲線、LM曲線を用いて表したものです。

市中消化による公債残高の増加は、長期的2つの資産効果を持つとする考え方があります。1つは、財市場で消費が **ア** する効果で、これはラーナー効果とも呼ばれ、IS曲線はIS₁から **イ** にシフトします。もう一つは、公債の保有者が公債と貨幣の間の望ましい保有比率を維持しようとして、貨幣市場で貨幣需要が **ウ** する効果で、LM曲線はLM₁から **エ** にシフトします。

これにより、当初の均衡点Eは、新しい均衡点 **オ** に移動します。



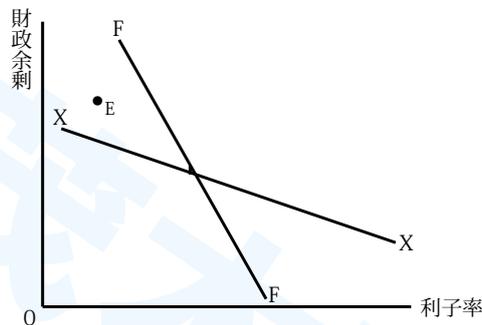
	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	減少	IS ₂	増加	LM ₃	E ₁
2.	増加	IS ₂	減少	LM ₃	E ₁
3.	減少	IS ₃	減少	LM ₃	E ₂
4.	増加	IS ₃	増加	LM ₂	E ₃
5.	増加	IS ₃	減少	LM ₂	E ₃

(地方上級 改題)

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=ih6i23zPTdM>

攻略！マクロ経済学（P 286）

下図は、固定相場制下のマンデルのポリシーミックスを表わしています。経済がE点にある状態と国内均衡、国際均衡を達成させるための政策として妥当なものはどれですか。ただし、図のXX線は国内均衡線、FF線は国際均衡線です。



1. 国内はデフレ、国際収支は黒字なので、国内均衡のためには財政拡大を、国際収支の均衡のためには金融緩和を行う必要があります。
2. 国内はデフレ、国際収支は赤字なので、国内均衡のためには財政削減を、国際収支の均衡のためには金融緩和を行う必要があります。
3. 国内はデフレ、国際収支は赤字なので、国内均衡のためには、財政拡大を、国際収支の均衡のためには金融引締めを行う必要があります。
4. 国内はインフレ、国際収支は赤字なので、国内均衡のためには財政削減を、国際収支の均衡のためには金融引締めを行う必要があります。

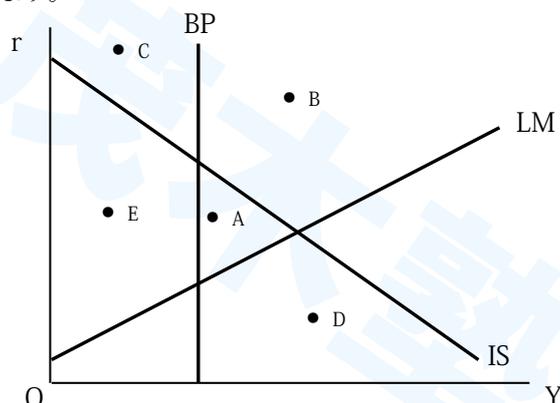
(地方上級 改題)

(動画解説) https://www.youtube.com/watch?v=_1O7evW41CY

ミクロ経済学「攻略」P 276

ある国の経済（資本移動がない）が次のグラフで示されるとします。このとき、各点における状況に関する記述のうち、妥当なものはどれですか。

ただし、グラフ中の IS 曲線は外国貿易を含む財市場の均衡を、LM 曲線は貨幣市場の均衡を、BP 曲線は国際収支の均衡を、それぞれ示すものとします。



1. A 点においては、財市場は超過需要、貨幣市場は超過供給、国際収支は赤字です。
2. B 点においては、財市場は超過供給、貨幣市場は超過需要、国際収支は黒字です。
3. C 点においては、財市場は超過需要、貨幣市場は超過供給、国際収支は黒字です。
4. D 点においては、財市場、貨幣市場はともに超過供給、国際収支は黒字です。
5. E 点においては、財市場、貨幣市場はともに超過需要、国際収支は赤字です。

(国家Ⅱ種 改題)

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=BWAs-wM9fxA>

攻略！マクロ経済学（P 321）

経済成長モデルが、

$$Y = \min \left(\frac{K}{5}, L \right)$$

$$Y = C + I$$

$$C = (1 - s) Y$$

$$\Delta K = I$$

$$\Delta L = 0.02L$$

(Y = 国民所得、 K = 資本量、 L = 労働、 C = 消費、 I = 投資、 s = 貯蓄率、 ΔK = K の増加分、 ΔL = L の増加分) で示されます。

資本の完全利用と労働の完全雇用が常に維持される経済成長が実現するためには、貯蓄率 s はいくらでなければなりませんか。

1. 0.1 2. 0.15 3. 0.2 4. 0.25

(地方上級 改題)

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=D7vZSoRegEc>

攻略！マクロ経済学（P 324）

新古典派の経済成長モデルが次のように示されています。

$$Y = 0.4 K^{\frac{1}{2}} L^{\frac{1}{2}}$$

$$Y = C + I$$

$$C = 0.8Y$$

$$K_{t+1} = K + I$$

$$L_{t+1} = 1.02L$$

(Y：産出量、K：資本量、L：労働量、C：消費、I：投資)

このとき、資本・労働比率 $\frac{K}{L}$ は時間の経過とともにいくらに収束しますか。

1. 12 2. 16 3. 20 4. 24 5. 28

国家Ⅱ種 改題

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=70jp-MdumPk>

攻略！マクロ経済学（P 326）

ソローの新古典派成長モデルの枠組みで考えます。マクロ生産関数が次のように与えられているとします。

$$Y_t = \sqrt{K_t L_t}$$

ここで、 Y_t は t 期の産出量、 K_t は t 期の資本ストック、 L_t は t 期の労働人口です。労働人口は時間を通じて一定で、 $L_{t+1} = L_t > 0$ です。一方、資本ストックは貯蓄率を s 、資本減耗を δ とすると、

$$K_{t+1} - K_t = s Y_t - \delta K_t$$

のように増加します。以上において、貯蓄率 $s = 0.2$ 、資本減耗率 $\delta = 0.05$ であるとします。資本ストックと労働人口の初期値が正の時、定常状態における労働 1 単位あたりの資本ストックはいくらになりますか。

1. 4 2. 10 3. 16 4. 18 5. 20

(国家一般職 改題)

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=eLbRjoJkdjk>

(動画解説・グラフで解く) <https://www.youtube.com/watch?v=B2lhRqnfA-s>

攻略！マクロ経済学（P 333）

ある経済の生産関数が、

$$Y = A K^{0.3} L^{0.7}$$

で示されています。ここで、Yは生産量、Aは全要素生産性、Kは資本ストック、Lは労働投入量の大きさを示します。この経済における経済成長率(生産量の増加)が4%、労働者1人あたりの資本ストックの増加率が2%、労働投入の増加率が1%であるとき、全要素生産性の増加率はいくらになりますか。

1. 1.2% 2. 1.6% 3. 2.0% 4. 2.4% 5. 2.7%

(国家一般職 改題)

(動画解説)<https://www.youtube.com/watch?v=vS4o2lmijZ0>

攻略！マクロ経済学（P 344）

ソロー・スワンのモデルにおいて、コブ＝ダグラス型の生産関数が、

$$Y = K^{0.5} L^{0.5}$$

であるとして、ただし、ある期間において、Kは資本ストック、Lは労働量、Yは産出量です。また、労働量の成長率が5%で貯蓄率が0.3であるとして、さらに、資本減耗や技術革新がないと仮定するとき、定常状態における労働量1単位あたりの資本の大きさ（資本労働比率）はいくらになりますか。

1. 4 2. 16 3. 25 4. 36 5. 49

(国家一般職 改題)

(動画解説)https://www.youtube.com/watch?v=k_5IsLjyr38

(動画解説・グラフで解く)<https://www.youtube.com/watch?v=yjnvw7R-IYA>

攻略！マクロ経済学（P 345）

経済成長理論に関する記述として、妥当なのはどれですか。

- 1 ハロッド＝ドーマーの成長理論では、保証成長率が現実の成長率を上回る場合、生産者は資本ストックが不足していると判断し、投資を増加させるため、経済は拡大の傾向をたどります。
- 2 ハロッド＝ドーマーの成長理論では、保証成長率、自然成長率及び現実の成長率が一致していれば、資本も労働も完全に操業、雇用され、均斉成長が実現し、長期的にこの3つが必ず一致するとしています。
- 3 新古典派成長理論のソロー・モデルでは、資本と労働の代替性があることを前提にしておき、貯蓄率が上昇すると、資本労働比率は低下し、一人あたりの国民所得は低下するものの、価格調整メカニズムにより、長期的には保証成長率は自然成長率に一致するように調整されます。
- 4 内生的経済成長理論では、長期的な経済成長は、労働者の教育水準が上がり、政府が公共投資をすることで人的資本や公的資本が内生的に影響を与えることに寄るものであり、生産技術の進歩や企業の研究開発といった民間資本ストックや金融資本の蓄積によるものではないとします。
- 5 内生的経済成長理論のAKモデルでは、資本の投入に関して資本の限界生産性は逡減せず一定であるとし、長期的に、生産量は資本ストックの増加とともに比例的に増加していくことに特徴があるとします。

（地方上級 改題）

（動画解説）<https://www.youtube.com/watch?v=cVt5S0GkQlw>

攻略！マクロ経済学（P 339）

総需要曲線と総供給曲線が

$$Y = \alpha \frac{M}{P}$$

$$Y = Y_f + \beta (P - P^e)$$

Y：産出量、 Y_f ：完全雇用産出量
 P：物価水準、M：貨幣供給量、
 P^e ：期待物価水準、
 α 、 β は正の定数

で示されているとします。物価水準に関して適格的期待と合理的期待の2つの場合を考えます。適格的期待とは、

$$P^e = P_{t-1} \quad (P_{t-1} : \text{前期の物価水準})$$

が成立し、他方、合理的期待とは、

$$P^e = P \quad < P : \text{当期の物価水準}>$$

が成立することを意味します。

前期まで、経済は長期均衡の状態にあるものとして、今期、もし貨幣供給量Mが増加すると、産出量Yと物価水準はどのように変化しますか。

1. 期待が適格的である場合、YもPも不変です。
2. 期待が適格的である場合、Yは増加し、Pは上昇します。
3. 期待が合理的である場合、Yは減少し、Pは上昇します。
4. 期待が合理的である場合、Yは増加し、Pは上昇します。

（地方上級 改題）

（動画解説）https://www.youtube.com/watch?v=X_SFXwE37W0

攻略！マクロ経済学（P 350）

名目賃金 W 、労働人口を L 、物価水準 P 、産出量を Y としたとき、労働の分配率 α は、

$$\alpha = \frac{WL}{PY}$$

と表されます。また、フィリップス曲線は次のように与えられているとします。

$$g_w = - (U - U_N)$$

ここで、 g_w は名目賃金上昇率、 U は失業率、 U_N は自然失業率です。今、自然失業率が 5%、労働の分配率が短期的に不変 ($\alpha = 0.7$) とします。さらに労働の生産性 ($\frac{Y}{L}$) の上昇率が 1% である場合、失業率が 3% になるためのインフレ率はいくらになりますか。

1. 0% 2. 1% 3. 2% 4. 3% 5. 4%

(国家一般職 改題)

(動画解説) https://www.youtube.com/watch?v=uel7zc_CLYA

攻略！マクロ経済学（P 349）

名目賃金 W と物価水準 P の間には、次のような関係が成立しています。

$$W = P \times \mu$$

但し、 μ は労働の限界生産性です。またフィリップス曲線が次のように与えられているとします。

$$g_w = -\frac{1}{2} (U - U_N)$$

ここで、 g_w は名目賃金上昇率、 U は失業率、 U_N は自然失業率です。今、自然失業率が 5%、労働の限界生産性の上昇率が 0.5% で一定であるとします。このとき、失業率が 3% になるための物価上昇率として妥当なものはいくつですか。

1. -0.5% 2. 0% 3. 0.5% 4. 1.0% 5. 1.5%

(国家一般職 改題)

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=FdCc94mL9B0>

攻略！マクロ経済学（P 341）

ある経済のインフレ供給曲線とインフレ需要曲線が次のように与えられています。

$$\begin{aligned} \pi_t &= \pi_t^e + 2(Y_t - Y_F) \\ \pi_t &= m_t - (Y_t - Y_{t-1}) \end{aligned} \quad \left(\begin{array}{l} \pi_t : t \text{ 期の物価上昇率} \\ \pi_t^e : t \text{ 期の期待物価上昇率} \\ Y_t : t \text{ 期の国民所得} \\ Y_F : \text{完全雇用国民所得} \\ m_t : t \text{ 期のマネーサプライ増加率} \end{array} \right)$$

この経済は t 期まで長期均衡にあり、 $Y_F = 100$ 、 $m_t = 3$ です。中央銀行が $t + 1$ において $m_{t+1} = 6$ としたとき、 $t + 1$ 期における、国民所得と物価上昇率の組み合わせで正しいものはどれですか。

ただし、期待物価上昇率は $\pi_t^e = \pi_{t-1}$ で決定されるものとします。

	国民所得 (Y_{t+1})	物価上昇率 (π_{t+1})
1	98	5
2	98	6
3	100	6
4	101	5
5	101	6

(国税専門官 改題)

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=jT6BP6G3mlk>

攻略！マクロ経済学（P 298）

ある国の国民経済計算について、次のようにデータが提供された場合、打妥当なものはどれですか。

民間消費支出	200 兆円
政府消費支出	100 兆円
総固定資本形成	100 兆円
在庫投資	10 兆円
純輸出	10 兆円
海外からの要素所得の純受取	10 兆円
固定資本減耗	90 兆円
間接税	50 兆円
補助金	10 兆円

1. 市場価格表示の国内総生産は、400 兆円です。
2. 要素価格表示の国内純生産は、360 兆円です。
3. 市場価格表示の国内純生産は、320 兆円です。
4. 市場価格表示の国民総生産は、320 兆円です。
5. 要素価格表示の国民所得は、300 兆円です。

（地方上級 改題）

（動画解説）<https://www.youtube.com/watch?v=x8m9smu3RjE>

配布資料

<http://www.trismart.com/gdp3.pdf>

攻略！マクロ経済学（P 307）

2つの産業からなるある国の経済が次の産業連関表で示されています。この国の国内総生産（GDP）はいくらになりますか。ただし、A～Dには何らかの数値が入ります。

		中間需要		最終需要		生産額
		第1産業	第2産業	消費	投資	
中間投入	第1産業	30	20	30	A	100
	第2産業	40	B	10	10	100
付加価値	賃金	10	C			
	利潤	D	20			
生産額		100	100			

1. 70 2. 80 3. 100 4. 200 5. 400

（地方上級 改題）

（動画解説）<https://www.youtube.com/watch?v=sNmmctC9mME>